

a. 子供こどもの頃ころの夢ゆめは色褪いろあせない落書らくがきで

おもおもうまかま書すべき滑えがらせて描みらいく未来へとつながる

すすわたわたる空そら果はてしないほど青あおく

むむじじゃゃききこころこころみみたたされ魅ひかれてく

b. やがて自由じゆうに飛とびまわれる翼はねを手てに入れて

むむくくひとみひとみもともとそらそらむむこうこうへ行いきたいな

c. 止め処とどない願ねがいから一つひとだけ叶かなうのなら

だれだれにもゆず譲ゆめりたつかくはない夢おもを掴つかみたいと思おもうよ

子供こどもの頃ころの夢ゆめは色褪いろあせない落書らくがきで

いつまでも描かき続つづけられた願ねがう未来みらいへとつながる

かねかねななおとおととおき鐘かねが鳴なる音おと遠きくから聞きこえてくる

すすななおおこころこころとどとどひびひび素直すなな心こころに届とどいては響ひびいてる

ひかひかななないろないろかか光ひかりは七色なないろに変わかって弧こを描えがいてゆく

むむくくひとみひとみもともとにじにじむむこうこうへ行いきたいな

d. 止め処とどなく願ねがうほど忘わすれないでいたいこと

ささささえてくれる人ひとがいて夢ゆめを見みることができるから

a. b. c. d. a. 子供こどもの頃ころの夢ゆめは色褪いろあせない落書らくがきで …